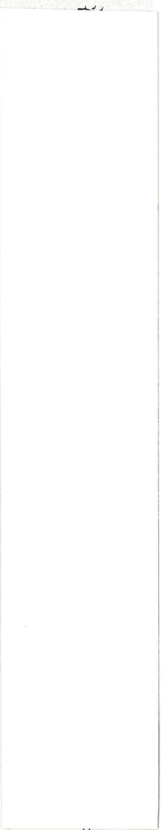


「コロナワクチン接種後の健康被害に係る副反応疑い報告が国に正しく反映され県民への周知が徹底される事を求める」について

請 願 者



紹 介 議 員

下奥奈歩、末永けい

(要旨) 私の妻はコロナワクチン接種後間もなく亡くなり、診察を行った医師には副反応疑い報告を国に提出して頂きました。しかし、こちらの副反応疑い報告制度が十分に機能しているのか、非常に心配しています。

副反応疑い報告制度とは、予防接種法に基づき、医療機関の開設者または医師が、予防接種等を受けた方の症状がワクチン副反応と疑われる場合に報告する制度です。報告はワクチンとの因果関係が明らかでなくとも行われ、収集された報告は専門家による評価や情報提供、安全性管理・検討に利用されます。

しかし実際には、ワクチン接種後に死亡したケースや後遺症の患者について、副反応疑い報告の仕組みを知らない医療関係者、遺族、自身でも報告がなされていないケースがあると聞いています。遺族の仲間からは、診察した医師が副反応疑い報告制度自体を知らなかった事例も報告されています。

現在、国はこの「副反応疑い報告」に基づいて専門家会議を開き、ワクチンの接種継続等に関する判断を行っていると言われています。ですが、正しく報告されていなければ正確な判断ができないのではないのでしょうか(副反応疑い報告は致命的な症状や重篤事例などを含めて収集されることになっています)。

まずは、愛知県内の病院に対して、副反応疑い報告制度を知っているかどうか調査し、報告制度を正しく理解し報告するよう通達を出して頂きたいと思っています。また、愛知県内でどれだけ副反応疑い報告がなされているのかについて、県として県民に分かりやすく周知する義務があるのではないのでしょうか。

私が令和 8 年 5 月 23 日時点で、愛知県のホームページを確認したところ、検索しないどこにあるのか分からず、アクセスしたページは令和 6 年 2 月時点の情報のみでした。数値の記載も細分化されおかり、全体像を把握するためには自ら数字を足し合わせる必要がありました。このままでは、県民がコロナワクチンの副反応や健康被害について調べようとしても理解しにくい状態です。

一方で、コロナ感染に関する情報やワクチン接種の案内は「分かりやすい位置」に見やすく掲載されています。副反応疑い報告や被害に関する情報も、ワクチン接種案内と同じページに分かりやすく記載すべきです。

私の妻や他の被害者の実例を県民に正確に知ってもらい、国に正しく副反応疑い報告がなされるよう改善・努力を県として頂きたいと思っています。

また、救済制度への申請がなされている人の中にも、副反応疑い報告がなされていないケースが多数見受けられます。国では救済制度と副反応疑い報告の突合調査を行っていることですが、愛知県でも同様の調査を行うて頂きたいです(別紙省略)。

ついては、下記事項について請願します。

記

- 1 副反応疑い報告制度がある事を県民に広く周知する事。
- 2 副反応疑い報告制度について今一度病院・医師に周知し、正しい報告がなされているか市町村に調査依頼をする事。
- 3 副反応疑い報告が正しく報告されるよう、市町村を通じて各病院・医師に通達を出すよう依頼する事。
- 4 愛知県の副反応疑い報告を分かりやすく記載し、愛知県ホームページにおいてコロナワクチン接種案内ページと同じ位置にリンクを掲載する事。
- 5 県として救済制度と副反応疑い報告の突合調査を行う事。